

ラムザ・デンタル通信

LAMZA DENTAL SUPPORT

発行日：2013年2月1日

Vol.12

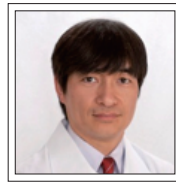
〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和2-33-5 立林ビル1F TEL/048-871-0800 FAX/048-871-0801

第十回 口腔ケアセミナー開催のお知らせ

ラムザ歯科サポート主催「第十回口腔ケアセミナー」を開催する運びとなりました。

今回は日本大学歯学部（摂食機能療法学）植田耕一郎教授をお迎えしての特別講演です。

皆様のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。



認知症の方への食支援

摂食機能の着眼点・考え方・手法について

日時：平成25年3月10日(日)

13:00～14:45

場所：キュポラ本館棟4階

川口フレンジア

(JR川口駅東口徒歩1分)

定員：120名(先着・要予約)

お問合せ先

☎048-871-0800 (担当：細田)

下記FAX申込欄に必要事項を記入し送信して下さい。

知っていますか？ 酸蝕症

酸蝕症を予防するには酸性食品を摂らない事が一番でしょうが、食事時に、酸性食品をとらない事はほぼ困難です。(酸性食品は健康に良い物が多い様です)では、酸蝕症を予防する為には、他にどんな方法があるのでしょうか。

- ①食後口腔内のPHを中性に近づけてから歯磨きを行う。(食後30分位経過してから歯磨きを行う)
- ②あまり硬い歯ブラシを使わない
- ③酸性飲料を飲んだまま放置しない。
- ④体調やストレス管理を行う(胃酸や唾液分泌量の低下も関連がある様です)
- ⑤酸蝕症を予防する成分の入った歯磨剤を使う。(フッ素やハイドロコ

キシアパタイト配合がお勧め)他にも唾液分泌で再石灰化を促進する方法もあります。噛むことで唾液の分泌を促し、同時に歯にミネラル分を補給することができている「リカルデン」は、ガムでは初めてのトクホマークを取得しているそうです。酸蝕症予防には色々な方法がある様ですが、丈夫な歯を維持する為には、定期的

定期検診



に歯科医で診てもらったことが大切です。

おもしろい歯

歴史的人物と歯②

ヴェルサイユ宮殿や「朕は国家なり」の言葉で有名なフランスの王ルイ十四世(1638～1715)皆さんご存知の事と思いますが、彼は歯でとても苦労した方なのです。彼の侍医ドクトル・ダガンは「歯は全ての病気の温床である」という説の持ち主でした。その為、王は12回にわたる手術の末全ての歯を抜かれてしまったそうです。17世紀の事ですから当然麻酔はありません。かなり痛かったと思いますよ！それだけではありません。歯を抜いた後の消毒がこれまた凄いです。真っ赤に焼けた鉄の棒を歯茎に押し立てて消毒したとか(ゾクゾク問です)。



それに加えて、歯を抜いた際に、上顎洞(蓄膿症を起こす所)という鼻の横あたりにある空間と抜いた穴が通じてしまい食べ物が入って常に悪臭を放っていたそうです。歯がない為に消化不良を起こし一日に何回もトイレに駆け込み、時には間に合わずおもらしもしていたとか。太陽王(ルイ14世)のキスは、宮廷のすべての貴婦人の渴望する神々しい名譽でしたが貴婦人たちは王にキスされるのが気絶していたそうです。お口の臭い気をつけましょうね♡



訪問嚥下内視鏡(VE)検査

訪問日が週2日になりました。

訪問日:火曜日(午後のみ)
水曜日(午前・午後)



お問合せお申込み ラムザ歯科サポート ☎048-871-0800 担当：相澤

第10回 口腔ケアセミナー申込書

参加者名	(他 名)
勤務先名称	
ご連絡先	
職種	

FAX:048-871-0801 (担当:細田)